

論語一 学而（十六章）

子曰。學而時習之。不亦說乎〔說、悦〕

【讀】 子曰く、学びて時に之を習ふ、亦た説（よろこ）ばしからずや。

【解】 孔子先生がおっしゃる。「学んでいて、ふと昔学んだことを思い出し復習してみる。するとその時気が付かなかった新たな発見などもあって、実に楽しいものであるよ。」

有朋自遠方來。不亦樂乎〔樂、音〕

論語

卷之一 一学而

勸学堂 論語普及会

【讀】 朋有り、遠方より来る、亦た樂（たの）しからずや。

【解】 こうして学問をしていると、同じ仲間が遠くからやってきて、また楽しいものであるよ。

人不知而不愠。不亦君子乎〔愠、紆〕

【讀】 人知らずして愠（い）みず、また君子ならずや。

【解】 人が自分のことに気付かず、評価しなくとも、恨むことはない。これが君子というものではないか。

二

○有子曰。其爲人也孝弟。而好犯上者鮮矣。不好犯上而好作亂者。未之有也。〔弟、好、皆去聲。鮮、上聲。下同。〕

【読】 有子曰く、其の人と為りや、孝弟にして上を犯すを好む者は鮮し。上を犯すことを好まずして乱を作すことを好む者は、未だ之有らざるなり。

【解】 弟子の有子が語る。「父母を大切に、年長者を敬うような人柄の人物で、上の者に逆らおうとする者は少ないものです。また上の者の地位を犯すことを好まない者で秩序を乱すことを好む者など、まだ聞いたことがありません。」

(参考) ・有子(ゆうし)(名を若といい、親孝行で知られた孔子の弟子)。

君子務本。本立而道生。孝弟也者。其爲仁之本。與。

論語

卷之一 一学而

勸学堂 論語普及会

【読】 君子は本を務む。本立ちて道生ず。孝弟は、其れ仁を爲すの本か。

【解】 君子と呼ばれる人物は何よりも基本に基づき行動しようとするものです。年長者を敬い、年少者に目配りする、こつした思いこそが仁(思いやり)の基本ではないでしょうか。

三

○子曰。巧言令色。鮮矣仁。

【読】 子曰く、巧言令色、鮮し、仁。

【解】 孔子先生がおっしゃる。「言葉がうまく、表情を装う人物には、少ないものだよ、思いやりがあることが。」

(参考)

・剛毅木訥(こうぎぼくとつ) 巧言令色の反対に近い言葉。

四

○曾子曰吾日三省吾身爲人謀而不忠乎與朋友交而不信乎傳不習乎  
〔省。悉。井。反。爲。去聲。傳。平聲。爲。〕

【讀】 曾子曰く、吾日に三たび吾が身を省る。人の為に謀りて忠ならざるか。朋友と交りて信ならざるか。伝へて習はざるか。

【解】 曾子が語る、「私は毎日毎日二度自分自身をかえりみます。人の相談にのって心からつくしてはいない、そんなことがないだろうか。友人と付き合っ

論語

卷之一 一学而

勸学堂 論語普及会

いて、上辺だけで付き合う、そんなことがないだろうか。人々にいろんなことを教えていて、そのことに十分習熟していない、そんなことはないだろうか。」

「讀」 曾子曰く、吾日に吾が身を三省す。人の為に謀りて忠ならざるか。朋友と交りて信ならざるか。習はざるを伝へしか。

「解」 曾子が語る、「私は毎日次の三点について反省いたします。人の相談にのって、心からつくしてはいない、そんなことがないだろうか。友人と付き合っていて、上辺だけで付き合う、そんなことがないだろうか。まだ自分でも十分に会得していないことを人に教える、そんなことをしていないだろうか。」

(参考)

・曾子(そうし) 孔子の弟子。名は参(さん)。字を子輿(じよ)という。

五

○子曰。道千乗之國。敬事而信。節用而愛人。使民以時。〔道。乗。皆去聲。〕

【読】子曰く、千乗の国を道むるは、事を敬して信、用を節して人を愛し、民を使ふに時を以てす。

【解】孔子先生がおっしゃる。「戦車千台も有するような大きな国を治めるには、事業を行うにあたり、落ち度はないか慎重に考える、このようにすれば、人々は信頼を置いてついてくるのだ。また十分に節約して人々を大切にす。人々を仕事に駆り立てる場合は、農繁期など人々の忙しい時期を外すようにする。」

論語

卷之一 一学而

勸学堂 論語普及会

六

○子曰。弟子入則孝。出則弟。謹而信。汎愛衆。而親仁。行有餘力。則以學文。〔弟子之弟。上聲。則弟之弟。去聲。〕

【読】子曰く、弟子入りては則ち孝、出ては則ち弟、謹みて信。汎く衆を愛して、仁に親しむ。行ひに余力有れば、則ち以て文を学ぶ。

【解】孔子先生がおっしゃる。「弟子達よ、家に入ったならば両親を大切に、外に出たならば、目下の者に接するように穏やかに接し、慎み深く偽りが無いようにする。人々を愛し、思いやりの心、仁を育んでいく。このように行動してなお余力があれば、その時は学問に親しめばよい。」

【補足】

古来、この一文は「先行後知（行ひを先にし、知を後にする）を説いた一文として名高い。行いに余力があつて学問を行えば、「世を輔け民を長ぜしむるの徳を成す（輔世長民之徳）」つまり、指導者としての力を持つ、と考えた。